

令和5年度シラバス(地理歴史)

学番21 県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年(文理学類・総合学類)
使用教科書	高等学校 新地理総合 帝国書院、新詳高等地図 帝国書院				
副教材等	高等学校 地理総合ノート 帝国書院、新編地理資料2023 とうほう				

1 目標

- (1) 地理的な見方・考え方や地図や地理情報システムの活用をはじめとする地理的技能を身につけるとともに、文化の多様性を理解する
- (2) 異文化を理解し、多様な自然と人間の相互関係やそこから生まれた文化に注目し、多面的・多角的に考察し表現する力を養う
- (3) 地理的諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

2 指導計画

月	単元	教材	学習活動(指導内容)	時間
4	1-1章 地図と地理情報システム	1-1-1地球上の位置と時差	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 地図読図や地理情報システムの役割、有効性について理解する ・思考・判断・表現: 地図の目的や用途・内容・活用を考察し、表現する ・主体的に取り組む: 地図を利用し、社会問題を主体的に追究し解決する 	5
		1-1-2地図の役割と種類		
5	1-2章 結びつきを深める現代世界	1-2-1現代世界の国家と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 読図を基に、方位・時差・位置・領域・国家間の結びつきについて理解する ・思考・判断・表現: 主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置・国家間の結びつきを考察し、表現する ・主体的に取り組む: 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	6
		1-2-2グローバル化する世界		
	2-1章 生活文化の多様性と国際理解	2-1-1世界の地形と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 地形と生活文化の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 地形と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	1
		考査		
5		2-1-2世界の気候と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 気候要素と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 気候と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	3
6		2-1-3世界の言語・宗教と人々の生活		<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 言語・宗教と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 言語・宗教と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する
		考査	1	
7	3-1章 自然環境と防災	3-1-1日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 自然環境と自然災害を理解し、ハザードマップ・新旧地形図・各種地理情報等の見方を身につけ、地理的な問題の解決に向けた取組や探究する手法などを理解する ・思考・判断・表現: 自然条件・社会条件との関わり、地域の共通点・差異、持続可能な地域づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・主体的に取り組む: 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	5
		3-1-2地震・津波と防災		
8	3-2章 生活圏の調査と地域の展望	3-2-1生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 自然環境と自然災害について、特徴・備え・対応・規模・頻度等を理解する ・思考・判断・表現: 自然条件・社会条件との関わり、地域の共通点・差異、持続可能な地域づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・主体的に取り組む: 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	8
		3-1-3火山災害と防災		
9		3-1-4気象災害と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 自然環境と自然災害について、特徴・備え・対応・規模・頻度等を理解する ・思考・判断・表現: 自然条件・社会条件との関わり、地域の共通点・差異、持続可能な地域づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・主体的に取り組む: 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	1
		3-1-5自然災害への備え		
		考査		
10	2-1章 生活文化の多様性と国際理解	2-1-4歴史的背景と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 歴史と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 歴史と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する ・修学旅行先の地域と地元地域の共通点・差異等を理解し、思考・判断・表現し、地域の特性把握に主体的に取り組む 	7
		3-2-1生活圏の調査と地域の展望		
11	3-2章 生活圏の調査と地域の展望	2-1-5世界の産業と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 産業と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 産業と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	7
		考査		
12	2-2章 地球的課題と国際協力	2-2-1複雑に絡み合う地球的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題を基に、各地で共通する課題や傾向性・相互関連性について理解し、各国と取組や国際協力についても理解する ・思考・判断・表現: 各課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	5
		2-2-2地球環境問題		5
1		2-2-3資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題を基に、各地で共通する課題や傾向性・相互関連性について理解し、各国と取組や国際協力についても理解する ・思考・判断・表現: 各課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	4
		2-2-4人口問題		1
2		2-2-5食料問題	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題を基に、各地で共通する課題や傾向性・相互関連性について理解し、各国と取組や国際協力についても理解する ・思考・判断・表現: 各課題について、持続可能な社会づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	3
		考査		
3		2-2-6都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能: 都市・居住問題を基に、各地で共通する課題や傾向性・相互関連性について理解し、各国と取組や国際協力についても理解する ・思考・判断・表現: 各課題について、持続可能な社会づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する 	3

3 評価の観点及びその趣旨と評価方法

観点	(1) 知識・技能(40%)	(2) 思考・判断・表現(30%)	(3) 主体的に学習に取り組む態度(30%)
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・地図読図や地理情報システム利用から、適切な情報を引き出している ・世界の生活文化を理解・尊重し、国際理解の重要性について理解している ・様々な地理事象を理解し、地球的課題の相互関連性を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システムの適切な利用の仕方を、多面的・多角的に考察し、表現している ・生活文化の多様性と国際理解について、地球的課題と国際協力について、地域的課題について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会生活のために、地図や地理情報システムを利用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている ・生活文化の多様性と国際理解について、地球的課題と国際協力について、地域的課題について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テストの評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テストの評価 ・学習ノート・課題プリントの達成度 ・授業での発言・発表 ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加 ・課題・レポートへの取組 ・授業での発言・発表 ・プレゼンテーション

4 担当者からの一言

・定期考査や課題提出だけでなく、授業態度や発表姿勢等も重要な評価基準となりますので意欲的に取り組んでください。